

エリスロポエチン（造血ホルモン）の投与時期について（2007/2/20）

#.4

Name:	マーキュリーちゃん	Age:	12歳	■投与開始時の BUN/CRE	>140 / 17
■薬剤名	エポジン		■投与時猫体重	4kg	

■開始年月日～終了年月日（投与回数／量） PCV／HCT の変化
2006.09.06～2006.11.05（週 3 回／ ） 20.0%→21.0%
■抗体について：
わからない 血液検査を最後の頃しなかった為、不明。しかし、肉球は相当白くなっており、貧血は進んでいた事は確かです。
■他の貧血対策：
ペットクリニック

■飼い主さんの感想

私の猫は腎不全発覚時にもう手の施しようが無いとほぼ主治医にさじを投げられた感じで、デリケートな性格から静脈点滴さえ難しく、考える余地なく造血ホルモンを打ち始めました。セカンドオピニオンで伺った先の先生も、とても親身に相談に乗って頂いたものの、やはり性格的に非常に神経質な為、入院させてかえって悪化させてしまっては本意ではない、という言葉いただきました。1 カ月打ち続けた頃に血液検査した結果では、クレ 10、BUN は 120 位、ヘマトクリット 21 程度だったと記憶しています。効いていない訳でなく、薬の効果が追いつかないのだろうとの事でした。主治医の意見では 2 カ月位で抗体が出来るという事でした（出来ないコもいるという話はありませんでした）。丁度 2 カ月頃で状態が悪化し亡くなったのですが、もっと先があると思っていたので効かなくなったらどうしよう、とは考えていました。

《じいや補足》

入院で多大なストレスを受けてしまうネコさんは確かにいると思います。デブちゃんもそうでした。ストレスは腎臓病にもよくないということで沢山の飼い主さんが迷うところだと思います。ずいぶんと悩まれたとは思いますが、マーキュリーちゃんの性格を十分に理解し、QOL を考慮しながらマーキュリーちゃんだけの看病をされたことは素晴らしいと思います。